

きらめき百歳

卯月 Vol.20
2014年4月号

兄弟と共に音楽一筋、半世紀

三浦京子 & ハニー・シックス



父と共に

生き活きと生き 生かされて 日々、感謝

磯村みどり [74歳]



世界の歌を 美しい日本語で
永田文夫 [88歳]



国宝探訪

楽しみは無限大

米本薰 [66歳]

明治女が教えてくれた
きらめき人生の心得
石川真理子
白木塾

青勝の「追憶の名画」
青木勝彦

『土魂商才』
守山淳

白木塾

白木大五郎

石川真理子
白木大五郎

明治女が教えてくれた
きらめき人生の心得
石川真理子
白木大五郎

石川真理子
白木大五郎

緑川連理
志茂田景樹

「よいこに読み聞かせ隊」
青木勝彦

志茂田景樹
青木勝彦

ドイツ占星術
白木塾

「よいこに読み聞かせ隊」
青木勝彦

志茂田景樹
青木勝彦



「這ってでもいいよ」と、ホソノさん



ホソノ様、妹様、宮下トラベルヘルパー

た。

①別のところに行き先を変更する

②旅行を取りやめる

③このまま手段を変えて稚内に行く

ホソノさん、迷わず③を選択されました。

【厳冬の宗谷岬へ 寒さを味わい尽くす旅】

旅の目的は、日本の北の果て「稚内」の寒さを味わう、宗谷岬の歌碑を見る、というこの二つでしたが、出発当日、吹雪のため、羽田から稚内の飛行機はすべて欠航。出発からアクシデント発生です。ご一緒したトラベルヘルパーからホソノさんへのご提案は以下三択でした。

①別のところに行き先を変更する
②旅行を取りやめる
③このまま手段を変えて稚内に行く

ホソノさん、迷わず③を選択されました。

羽田から旭川まで飛行機で飛び、旭川から稚内まで、250km以上を車で走る、ということになりました。250kmを普通に走つても一日かかります。ま

してや吹雪の中を車で移動、とは、普通ならありえないのですが、車内は運転手さんとよもやま話で盛り上がり「車の移動もおもしろかった」と、アクシデントさえも楽しまれていらっしゃいました。

ホソノさんは、作曲家船村徹さんの弟子さんです。その船村先生の作曲した「宗谷岬」の歌碑を見るという目的を達成され、歌碑の前で記念撮影です。

【大阪通天閣に 演歌の女に会いにいく旅】

今度は、大阪通天閣歌謡劇場の歌姫叶麗子さんに自作の演歌を歌ってもらうのを実現する旅です。

東京から大阪に向かう新幹線の中でトラベルヘルパーとみつちりと作戦会議しながら大阪に向かいました。そして大阪着。「あつという間についたな。50年ぶりだなあ～」

心に寄り添い…

第4回

トラベルヘルパー®のスマイルレポート

(1)THC_mark_nijiman

トラベルヘルパー®とは

トラベル+ヘルパー、お客様の介助をしながら外出支援するプロのエスコートサービスのことです。介護技術と旅の業務知識をそなえた「外出支援」の専門家です。身体に不自由のある人や健康に不安がある人の希望に応じて、身近なおでかけから介護旅行の相談、コーディネイトまで、暮らしの外出に関わるすべての支援サービスを行います。



今回のあ・える俱楽部のお客様はホソノ壽一郎さん(4歳)です。

ホソノさんは、「演歌の旅」をあ・える俱楽部のトラベルヘルパーと続けていらっしゃいます。

40代の働き盛りに思わぬ事故で身体が不自由になってしまったホソノさん。

それ以来30年は自宅に引きこもっていました。ある時、車いす利用者がト

ラベルヘルパーと一緒に旅をしている、という新聞記事を読み、自分も旅をしな

がら、自作の演歌「冬の風鈴」を世に送りだすきっかけを探そうと、トラベルヘルパーと「夢を叶えるための旅」が始まりました。

今までトラベルヘルパーと続けてきた「演歌の旅」をご紹介させていただきます。

冬の風鈴

作詞作曲 ホソノ壽一郎

あの人気が・残していく貝殻の

ふうりん風に泣いている

窓を開ければまたひとつ

星が流れて暗くなる

冬は冷たいことばかり

カラカラとかわいた音がなお更に

未練を摇するせきたてる

胸にあふれる悲しみを

夢もうつるな寂しさを

一人おさえて爪をかむ

さよならの言葉を残し背を向けてた

男のところれなさよ

忘れようにも忘れられぬ

女ごころの女々しさが

胸のまにまにこだまする



冬の風鈴／鈴木りえ
作詞作曲 ホソノ壽一郎
税込定価 1,200円(キングレコード)

ホソノ壽一郎さん、74歳で長年の夢演歌CDデビュー！

ホソノさんの長年の夢でした。そのホソノ壽一郎さんが、長年の夢を叶えました。